



TBS が ABU(アジア太平洋放送連合)年次総会参加者を招き  
レセプションパーティー開催

アジア太平洋地域の放送機関の連合体である ABU(アジア太平洋放送連合)の第 56 回目の年次総会が 11 月 21 日、22 日の二日間にわたって行われますが、その開催前夜に参加者を招いたパーティーが開かれました。

ABU は 73 の国と地域から 279 の機関が加盟しており、アジア太平洋地域全域における放送事業の発展を目的として設立された世界最大の放送連合です。

日本からは NHK と TBS が正会員として加盟していますが、総会前日の 20 日、都内のホテルで総会の参加者を招いた TBS 主催のレセプションパーティーが開かれました。

パーティーには、各国からの総会参加者 350 名超が参加。挨拶にたった TBS の佐々木社長は「不確実性の時代において放送局間の協力が重要」と述べ、国や地域を越えてのテレビの価値向上を訴えました。

パーティー会場では、TBS が提携するティフォン社やプレースホルダ社のリトルプラネットによる XR コンテンツなどの展示、さらに、日本の“祭り”をコンセプトに日本の伝統的な遊びや盆踊りで海外放送局ら来客との親交を深めました。

今回の日本国内での総会は 2010 年以來で、7 回目の開催となります。

テーマは“Building Trust: Enriching Audience Experience”(多様な視聴体験への挑戦〜信頼されるメディアを目指して)。

世界的にメディア環境が激変するなか、さまざまなプラットフォームを通して多彩で豊かなコンテンツや視聴体験を提供し、視聴者のみなさまとの信頼を強める方策について考察する機会となることをめざしています。

ABU 第56回年次総会は本日より(11月21日～22日)の二日間に渡って東京で開催され、総会前には関連会合及びイベントなどが開催されました。

以上